

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	7. ファシリティマネジメント事務費	
項	1. 土木管理費	細事業名		
目	2. 建築管理費	担当課・係	建築指導課	(執行課: 建築指導課)

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	2,199	要 求									2,199
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	まちづくりの推進に向けて / 成果と効率性を重視した行財政運営の推進 / 公共施設の管理運営状況を調査し、施設の										
	[ファシリティマネジメントに関する業務]	施策体系コード	06-01-05-10-10			事業番号	192-1						
	ファシリティに関する情報の集約及び市有建築物統括管理システムの導入を行い、一元的なデータベース管理及び共有化を図る。また、データの分析評価を行い、戦略的な中長期保全計画の立案、施設経営管理の最適化、維持管理コスト縮減策(インハウスエスコ)及び施設管理の業務支援等を行う。	総事業費	4,128千円			事業期間	平成20年度～平成22年度						
		年度別事業費	20年度	21年度	22年度								
			2,200	964	964								
												(事業実施に関する根拠法令)	

< 事業に関する説明 >

(事業の説明)	(事業の目的)	(事業の効果)
<p>ファシリティに関する情報の集約及び共有化を図るための市有建築物統括管理システムを導入する。</p> <p>維持管理コスト縮減策(インハウスエスコ)を実施するための測定機器(電力計、電流計、風速計など)を購入する。</p> <p>ファシリティとは、土地や建物あるいはその設備やそれらを取り巻く内外の環境そのものをいう。</p> <p>インハウスエスコとは、庁内自らの組織内で行う省エネルギー対策のことをいう。</p>	<p>情報の集約・共有化及び具体的なコスト縮減策を実施することにより、経営的視点による施設運営手法であるファシリティマネジメントの導入を推進し、市有施設の効率的な経営の支援を行う。</p>	<p>ファシリティマネジメントの導入を推進することにより、長期的視点に立った維持管理コストの縮減を進めつつ、市民にとって魅力ある価値の高い施設提供の提案を行う。</p>
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)